

## 外貨を自動「消し込み」

### R&AC、入金と売掛金相殺

システム開発のオール・アンド・エー・シー（R&AC、東京・千代田、高山知泰社長）は30日、取引先からの外貨での入金と売掛金を自動で相殺する「消し込み」作業ができる入金管理システムを発売する。外国と取引する企業が増える中、外貨を自動で消し込みでき

る機能で経理業務の効率を高める。大手・中堅企業を対象に、年間30本の販売を目指す。

同社の入金管理のシステム「ビクトリーワンG3」の外貨対応版は掘場製作所などの大手企業向けに特注で開発していた。外貨の自動消し込みへの要望が増えてきたこと

から、従来の特注での開発に比べ1割程度の価格で導入できるような商品群に加えた。導入費用は250万円（税別）から。同社のビクトリーワンを既に導入している場合は外貨の消し込み機能を80万円（同）から追加できる。

同社は2005年から

入金管理システムを販売している。企業の請求管理や販売管理の基幹システムと組み合わせる利用するシステムで、導入企業は日本航空やカシオ計算機など100社以上に上る。